



佐保会徽章

奈良女子大学同窓会佐保会 滋賀支部だより

2022年7月29日
佐保会滋賀支部
会員数 418名

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の支部だよりでは、3年ぶりに実施した総会・講演会・懇親会の報告と、おうみ佐保塾のお知らせを掲載しています。源氏物語と紫式部をテーマにしたおうみ佐保塾への皆様のご参加をお待ちしております。

★★★2022年度滋賀支部総会・講演会・懇親会の報告★★★

日時：2022年6月12日（日）10時30分～14時30分

場所：琵琶湖ホテル5階「萩」

参加者：総会15名、講演会16名（講師含む）、懇親会15名（講師含む）

総会に先立ち、前回2019年度総会以降に逝去された方々への黙とうを捧げました。

総会では、提案しました議題は全て承認いただきましたのでご報告いたします。

なお、規約改正により、（一社）佐保会代議員が現行の2名から会員100名あたり1名となり、4名に増えましたので、監事、理事はじめ、以下の役員の推薦をいただきました。

監事：和田隆子（S49 理物）、 理事：浅野純子（S50 理化）

代議員：山仲 幸（S53 家食）、高原早苗（S60 文社）

山岡弘子（S59 家被）、岡城雅代（S59 家被）



講演会 演題「奈良女子大学の今 ～未来～」

★★★講師の藤原素子先生のご紹介★★★

山仲 幸 (S53 家・食)



講演会の講師を務めていただいた藤原素子先生は、昭和 58 年に奈良女子大学文学部教育学科体育学専攻をご卒業になり、引き続き昭和 60 年に奈良女子大学大学院文学研究科体育学専攻を修了されました。

その後、大阪大学での研究生活等を経て、平成 7 年度から奈良女子大学文学部人間科学科にて教鞭をとられ、現在は生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コースの教授でいらっしやいます。

併せて、平成 29 年度から奈良女子大学理事および副学長にも就任され、今年度からは企画担当の副学長として、大学の組織運営にもご活躍です。

また、住居学科におられた故梁瀬度子名誉教授は、藤原先生のご母堂様にあたられます。親子二代にわたり母校発展に大きく寄与してこられたことを付け加えさせていただきます。

★★★講演を拝聴して★★★

高原早苗 (S60 文・社)

奈良女子大学が《学問の府》である事を守り抜く…そんな、母校の先生方の気概を感じる講演でした。【late specialization】(大学院でより専門的な研究をする)や、【6年一貫教育プログラム】(学部から博士前期課程まで)など、じっくりと学生を育てる姿勢から、また、【奈良カレッジズ構想】(奈良国立博物館を初めとする奈良県内の高等教育機関・研究所との連携により、奈良を《学問の府》としていこうとする構想)から、特にそのお気持ちを感じる事ができました。

話題の工学部新設に関しては、「日本の大学における工学部の女子学生比率が 15 パーセントほどしかないという現状」を踏まえたものだと伺い、得心しました。絶対多数の男性の中で色々困難な思いをするよりは、女子だけの中で伸び伸びと研究に没頭できる場があった方が絶対に良い…と思ったからです。期待にたがわず、大変元気な一期生が入学されたそうです。ところで、昨今の工学部は特定の企業から強い支援を受けると知り、今後の影響等を見守りたいと感じました。

さて、皆様が一番気になられている点は、奈良教育大学との関係の変化ではないでしょうか。令和元年に「一法人複数大学制度」が認められたことを受けて、奈良女子大学と奈良教育大学は、令和 4 年より法人を統合しました。新法人の名称は【国立大学法人奈良国立大学機構】です。これは、二つの大学が一つになるという事ではなく、「両大学はこれまでどおり存続し、それぞれ異なる強みを相互に提供しあいながら、これまでになく新しい国立高等教育機関として、教育・研究面の機能強化を図っていく」との事です。それに伴い、今年度からは旧理事が解任され、教員以外の方が理事になられたそうです。何分にも新しい制度ですから、今後の動向にしっかり注目したいところです。



その他にも様々なお話をいただきました。特に、コロナ禍下のご苦勞には頭が下がりました。体温モニターによる入構者の健康チェックを初めとして、生活に困窮する学生を救済する目的でアルバイトを創出（先生方の研究の補助をしてもらって報酬を提供）したり、一人暮らしの下宿生に心のケアをしたり、その配慮は多岐にわたります。世間的にはリモートによる講義が一番の話題だったと思いますが、なんと母校では、既に以前から遠隔講義の実績を積んでおられたそうです。それは、お茶の水女子大学との共同専攻である【生活工学共同専攻】（博士課程前期・後期）での事です。流石だわ、と嬉しくなる情報でした。

もう一つの「流石」は【ならっこネット】です。皆様インターネットの検索エンジンに「奈良女子大学男女共同参画推進機構」と入力してみてください。従来おびただしい数の女性達が、年齢制限のある出産・育児のために、研究や仕事を断念してきた事と思われます。そうしなくて済むように応援するシステムが【ならっこネット】です。対象は「奈良女子大学、共同実施機関の教職員および学生、研究者」。スタートは平成20年。令和3年からは病児・病後児保育への拡充も目指しているとの事で、その実践力には目を見張るものがあります。女子大学の存在意義がここにもあった、と感動しました。




ご存知のように、近年、大学を巡る状況は激変しつつあります。「儲かる大学」という文言までささやかれるようになりました。そんな中で信念を持って奮闘して下さっている母校の先生方のお姿を、この講演から知る事が出来ました。卒業生として、是非とも応援したい…という思いが、私の胸に湧きました。

最後に「創立110周年記念事業」への皆様からのご寄付に御礼のお言葉をいただきました事を報告し、拙い文章を終わります。

最後に「創立110周年記念事業」への皆様からのご寄付に御礼のお言葉をいただきました事を報告し、拙い文章を終わります。

★★★2022年度新入会員紹介★★★

善住 菜奈	文学部人文社会学科歴史学コース		草津市
田中 美帆	文学部人文社会学科歴史学コース		東近江市
野村 まどか	生活環境学部 心身健康学科 生活健康学コース		草津市
内田 瑞歩	人間文化総合科学研究科 博士前期課程 化学生物環境学専攻		守山市

★★★2022～2023年度 新役員紹介★★★ 2年間、よろしくお願ひします。

支 部 長：山仲 幸 S53 家食
 会 計：山岡弘子 S59 家被
 地区委員：塚田多佳子 S51 文教、小南葉子 S57 家住、岡城雅代 S59 家被
 荒木美紀 S59 家被、松本匡代 S60 理物、高原早苗 S60 文社
 会計監査：浅野純子 S50 理化、小野 薫 S54 家食



《編集後記》

「梅雨が明けたのに蝉が鳴かない」という噂を聞いていたので、ニイニイゼミの声に気づいた時にはホッとしました。芭蕉の句「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」そのものの世界を、しばし堪能しました。この号がお手元に届く頃には、油蟬やミンミンゼミが大合唱している事でしょう。どうぞ皆様、暑さに負けずご自愛ください。

編集子

★★★おうみ佐保塾のお知らせ★★★

第24回、第25回のおうみ佐保塾は、福島昭治先生を講師にお迎えして、下記の日程で開催します。会場参加（先着50名）のほか、ZOOM配信による受講（先着30名）も可能。

再来年のNHK大河ドラマ「光る君へ」に先駆けて知見を深めるひと時をご一緒しませんか。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、ご家族やご友人にも参加いただけますので、お誘いあわせて是非どうぞ。

講師：福島昭治先生

1948年生まれ。大阪大学文学部ご卒業ののち、同大学大学院文学研究科修士課程修了。現在は園田学園女子大学名誉教授。

朝日カルチャーセンター、NHK文化センター、しがぎん経済文化センターなどで、源氏物語、伊勢物語、枕草子の講座を多数ご担当。

著書に『「源氏物語」カルチャー講座』、『源氏物語 紫式部と越前たけふ』共著に『御堂関白日記注釈』『物語文学の系譜』など。



第24回 日時：令和4年（2022年）10月7日（金）14：00～15：45

演題：「源氏物語の「面白さ」～千年読み続けられた物語の魅力～」

概要：源氏物語はなぜ千年以上読み続けられてきたのでしょうか。それはひとえに時代と階層の違いを超えて人を引きつけてやまない魅力があったからです。つまりいつ誰が読んでも面白い物語だったからです。そんな源氏物語の「面白さ」を、原文を取り上げつつ読み解きます。古典文法や文学史の知識などは一切必要ありません。

第25回 日時：令和4年（2022年）10月28日（金）14：00～15：45

演題：「紫式部という人～歌集と日記にうかがうその人となり～」

概要：歌集からは、彼女の青春時代の様子と都を離れて一年あまり生活した越前の暮らしの意味を、うかがうことができます。日記には、周囲に溶け込むことの出来ない境遇を嘆く繰り返し記述が見受けられます。歌集と日記に紫式部の人となりを探ります。

会場：キラリエ草津4階402会議室 〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号

JRが便利です。草津駅から近鉄百貨店前を歩いて国道1号線方面へ徒歩約5分。

TEL：077-541-7700 駐車場は平和堂と共通（キラリエ利用者は4時間無料）満車がち。

資料代：各回、資料代として500円を当日徴収します。ZOOM配信者へは別途連絡。

申込方法：9月20日迄にハガキで山仲幸（〒520-2332 野洲市妙光寺247）宛てか、sahoshiga22@gmail.com にメールでお申し込みください（QRコード利用可）。

本文には、おうみ佐保塾の参加希望の回を明記の上、お名前、人数、卒業年、学部学科名、参加形態、電話番号・メールアドレス等をお知らせください。

例：第24回おうみ佐保塾申込 佐保花子ほか1名 S50 家住 会場参加（電話番号）

第25回おうみ佐保塾申込 佐保花子 S50 家住 ZOOM参加（メールアドレス）

*ZOOM参加には、パソコン・スマホにZOOMアプリ（無料）のインストールが必要です。わからない場合は、お申し込み時にお知らせください。



佐保塾事務局メール

